

プロフィール

2024年5月現在

氏名： 高野 一彦 (TAKANO Kazuhiko)

現職： 関西大学 社会安全学部・大学院社会安全研究科 教授・博士(法学)

専門： 英米比較法(情報法、企業関係法)、コンプライアンス論、クライシスマネジメント論、
企業の社会的責任論

略歴:

2010年 関西大学 社会安全学部・大学院社会安全研究科 准教授、2012年 教授、2014～16年 副学部長を経て現職。

学会・研究団体の役員等:

日本経営倫理学会(JABES) 常任理事・クライシスマネジメント研究部会長、経営倫理実践研究センター(BERC) 理事・上席研究員、日本リスクマネジメント学会 理事、SRM学会 理事、情報ネットワーク法学会 監事、情報法制研究所 参与、日本DPO協会 顧問など

社会的活動:

アデランス 社外取締役、JR西日本 グループリスクマネジメント委員会 社外委員・アドバイザー、NEXCO西日本 コンプライアンス委員会 委員、ベネッセこども基金 評議員、久米設計 経営監査委員会 委員長、タカラトミー 企業倫理・コンプライアンス アドバイザーなど

歴任(過去の主な兼任):

関西電力 経営監査委員会 委員(2014～22年)、中外製薬 アドバイザリーコミッティ委員(2016～23年)、神戸市 個人情報保護審議会 委員(2016～23年)、神戸市 行政データの利活用に関する有識者会議 委員(2022～24年)、経済産業省 製品安全広報検討委員会 委員長、情報ネットワーク法学会 ネット社会法務研究会 初代主査などを歴任

受賞

2008年、日本リスクマネジメント学会優秀著作賞受賞

2013～16年、客員教授を務めた名古屋商科大学大学院(MBA)において、4年連続『ティーチング・アワード』を受賞

主要著書:

日本経営倫理学会編『経営倫理入門 -サステナビリティ経営を目指して-』(文真堂、2023年)

関西大学社会安全学部編『検証 COVID-19 災害』(ミネルヴァ書房、2022年)

関西大学社会安全学部編『リスク管理のための社会安全学』(ミネルヴァ書房、2015年)

堀部政男編著『プライバシー・個人情報保護の新課題』(商事法務、2010年)

高野一彦『情報法コンプライアンスと内部統制第2版』(ファーストプレス、2008年)など多数。